

平成20年度 公共事業再評価

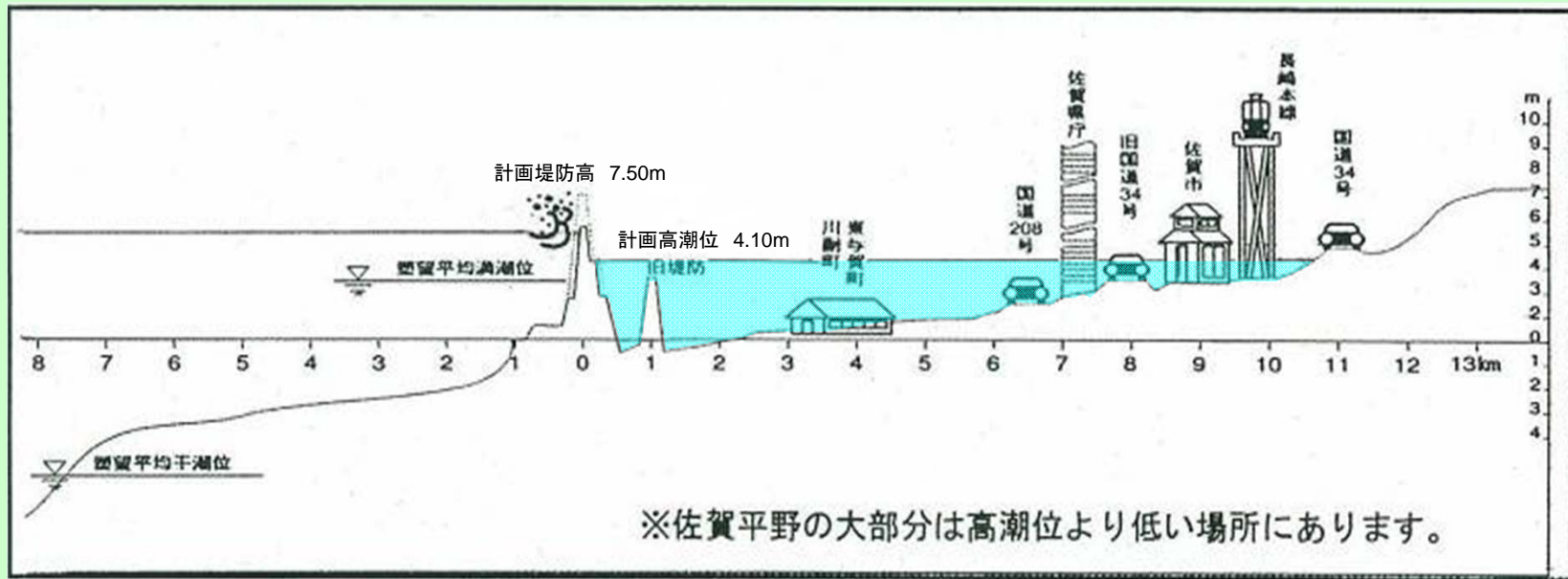
県営海岸保全施設整備事業(高潮対策)

浜地区(鹿島市浜町)

平成20年10月30日

海岸保全施設整備事業とは・・・

「海岸法」に基づき指定した「海岸保全区域」において、海岸堤防等の「海岸保全施設」を整備し、住民の生命・財産を高潮や津波、波浪、浸食から防護することにより、国土の保全と民生の安定を図ることと目的とする事業です。



海岸保全施設整備事業の概要

海岸の現状

- ・本県は、台風の常襲地帯であり、たびたび高潮災害が発生
- ・有明海沿岸の海岸堤防は、沈下等による老朽化が進んでおり、防護機能が低下

事業の実施

消波工や堤防の嵩上げ等、
緊急性の高い箇所からの整備

事業の効果

高潮、浸水被害の解消

現在の取組み

- 直轄海岸保全事業 2地区
 （国土交通省・農林水産省）
- 県営海岸保全事業 10地区



有明海沿岸 海岸保全事業 実施状況

農水省所管 (農村振興局)		国交省所管 (河川局)	
①	大詫間	①	大詫間海岸
②	南川副	②	川副海岸
③	国造	③	芦刈海岸
④	西川副	④	有明海岸
⑤	東与賀	⑤	東与賀海岸
⑥	久保田	⑥	嘉瀬海岸
⑦	福富(直轄)	⑦	福富海岸
⑧	廻里江	⑧	鹿島海岸
⑨	浜		
⑩	七浦		
⑪	有明(直轄)		

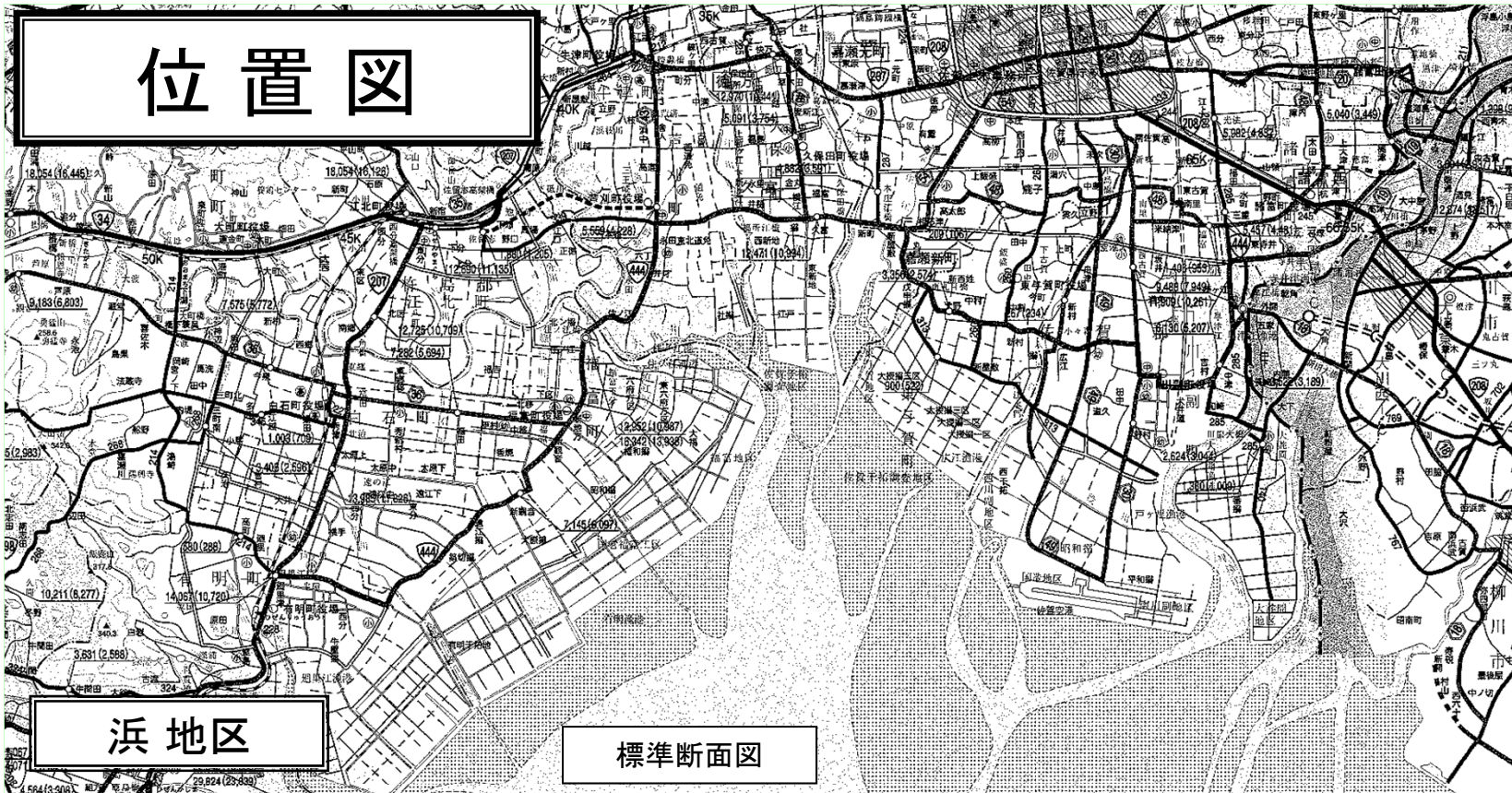


凡 例		採 択 要 件
— (solid blue)	県営海岸保全事業 (農水省所管)	総事業費 1億円以上 1Kmあたり防護面積5haまたは防護人口50人以上
— (solid brown)	国交省直轄海岸保全事業 有明海岸(H20完了予定)	総事業費 50億円以上
⋯⋯⋯ (dotted brown)	国交省直轄海岸保全事業 有明海岸(H15完了)	
— (solid red)	農水省直轄海岸保全事業 福富地区(実施中)	
⋯⋯⋯ (dotted red)	農水省直轄海岸保全事業 有明地区(H17完了)	

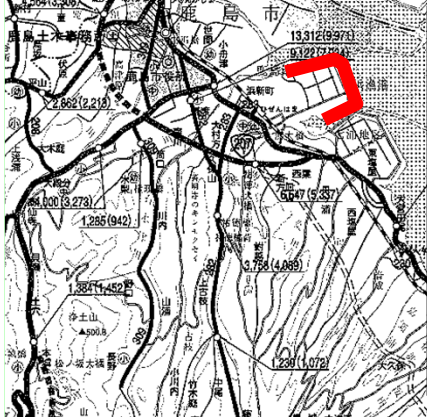
海岸保全施設整備事業

浜 地区

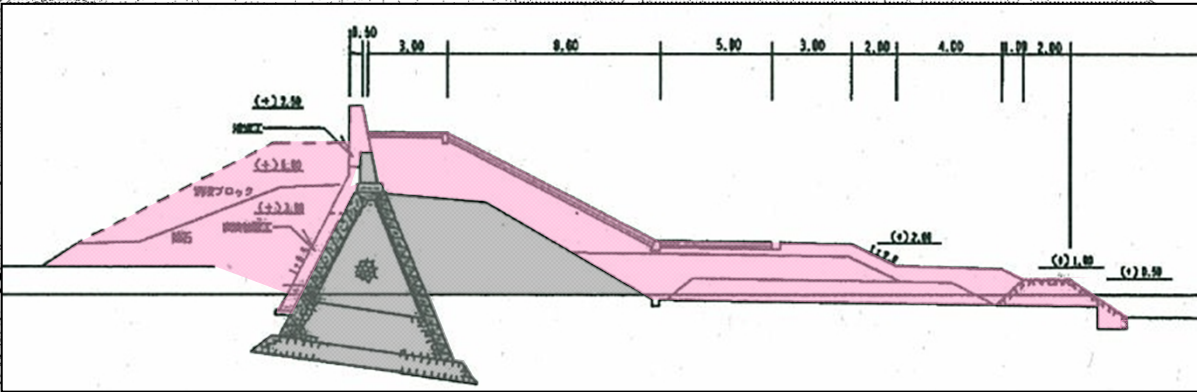
位置図



浜地区



標準断面図



浜地区の海岸堤防の現状

- ・海岸堤防は、干拓事業(S22～44)により造成
- ・有明海岸の沖積粘土などの極軟弱地盤上に築造
⇒ 不等沈下による亀裂等が発生
- ・堤防高は、伊勢湾台風クラスを想定し、T.P+7.5m
(既設5.6～6.3m)で設定



過去の台風による被害 (平成18年台風13号)

越波による塩害(浜地区)

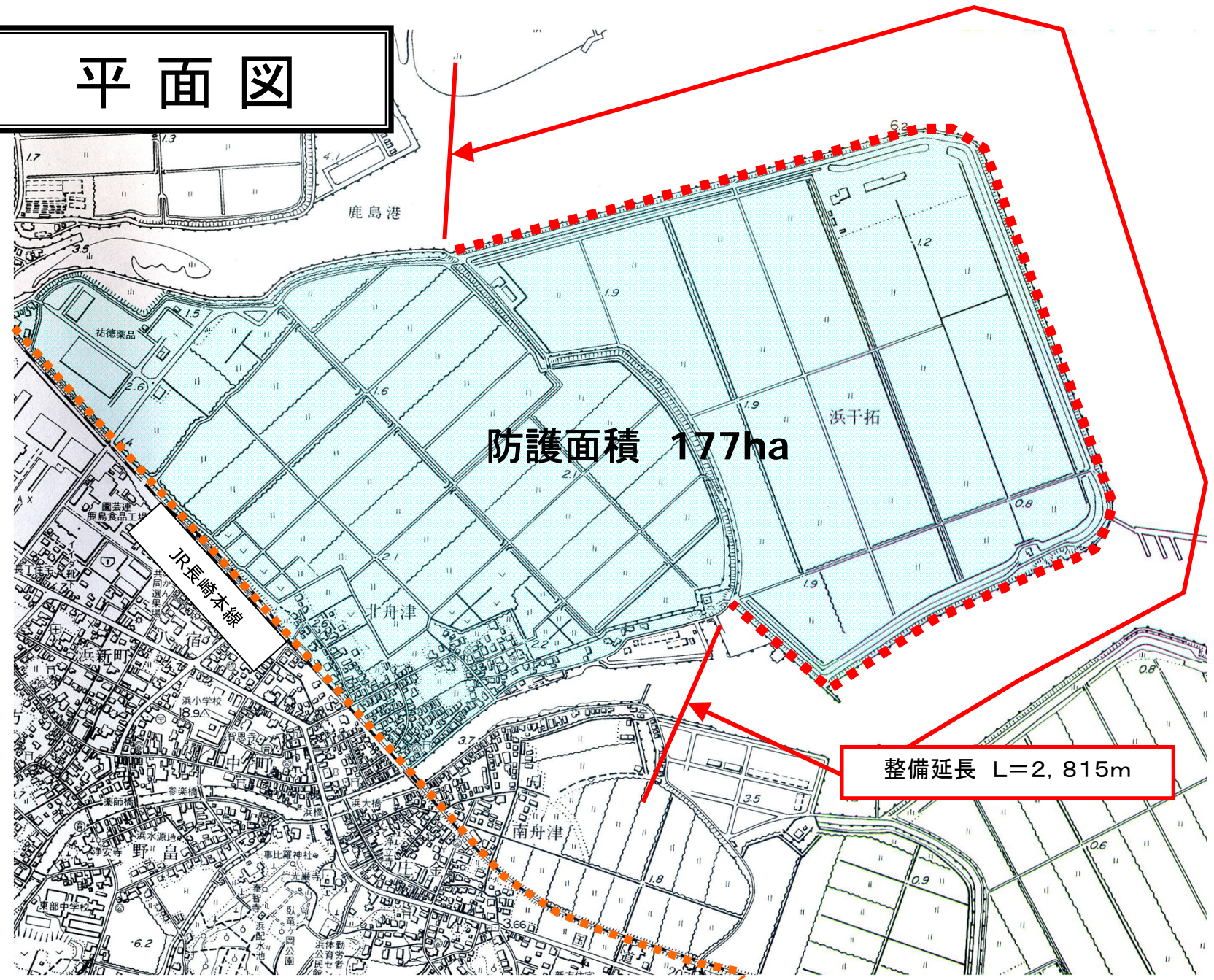


浜 地区 海岸保全施設整備事業 概要

【全体計画】

- ・事業着手年度 昭和47年度
- ・完了予定年度 平成29年度
- ・整備延長 2,815m
- ・主要工種 堤防工、消波工、樋門工(1箇所)
- ・防護面積 177ha
(農用地111ha、宅地26ha、その他40ha)
- ・総事業費 3,112百万円
- ・進捗率 86.1%(平成19年度末 事業費ベース)

平面図



防護面積 177ha

整備延長 L=2,815m

鹿島港

浜干拓

北舟津

南舟津

JR長崎本線

祐徳薬品

鹿島食品工業

浜小学校

野島

東部中学校

比羅神

公園

民

費用便益比 B/C

- ・総費用C: 3,112百万円
- ・総便益B: 4,686百万円(被害防止額)

便益内訳

- ・農作物被害 448百万円
(水稲、麦、イチゴ、トマト、ナスほか)
- ・一般、公共土木施設等被害 4,238百万円
(水田、家屋、排水機場、下水処理施設ほか)

$$\text{費用便益比 (B/C)} = 4,686 \div 3,112 = \underline{1.51}$$

事業の継続について

事業の必要性

- ・地区は、高潮位より標高が低く、来襲する台風の規模やコースによっては、高潮災害や越波による塩害が発生する危険性がきわめて高い。
- ・背後地には、干拓事業で造成された優良農地や、下水処理施設や一般の家屋等も存在

事業の実施により

- ・防災上の安全度の向上
- ・高潮被害の解消、防止
- ・地域住民の生命・財産と安全安心の確保

以上のことから、事業の継続が必要です。